

トーランス市の文化施設

佃 みつ子（団長）

トーランス滞在中、私達が毎日のプログラムで集合し解散した場所は市庁舎 West Annex でした。この辺り一帯には公共施設が集中していて、非常に機能性がよい所です。その中でも市民活動の場である文化施設については特に興味があり、フリーデーの午前中、第二ホストのダナさんにゆっくり案内していただきました。

West Annex のロビーには、イベントやカルチャー教室の案内コーナーがあり、沢山のチラシと雑誌が置いてありました。これらは文化振興課地域行政部が運営する文化教室で、四半期ごとにクラス案内を発行しています。芸術、ダンス、音楽、スポーツなどの分野があり、それぞれに大人向き、若者向き、子供向き、誰でも参加可能と細かく表示されています。受講料が安い割には、先生の質、用意されている材料が良く、またトーランス市民以外の人でも受講できますが、料金が少し高く設定されているようです。柏市の場合、アミューゼ柏などにもクラス案内コーナーがありますが、自主的な市民サークル活動が主で市は関与していません。

市庁舎に向かって左奥一帯は『トーランス カルチャー アート センター』です。ここは陶芸やダンス教室等の専用スタジオ、会議室、パーティー・イベント会場、野外会場、劇場、等々を含む広大で多様性に富む文化施設の集合体です。前述した West Annex のロビーで案内しているカルチャー教室などもここで開かれていて、トーランス市民のための交流の場となっています。ケンミラー・レクリエーションセンター（柏市との姉妹都市提携にサインをした市長にちなんだ施設名）、ジョージナカノ・シアター（日系2世でトーランス市議会議員からカリフォルニア州議会議員となった人にちなんだ施設名）などは、今回私達のためのイベント会場としても利用されました。又、本格的な美しい日本庭園は The Pine Wind Japanese Garden 松風園と名付けられていて、市民の憩いの場であり結婚式にも利用されます。

市庁舎の左隣りには、3階建て規模の大きな市立図書館があります。地下1階はCD・DVDのコーナーや雑誌閲覧場所、1階は大人向け、2階は青年・児童向けとなっていて、パソコンの数も充実しています。広々として開放感があり、図書館ならではのイベントも頻繁に開催されているそうです。

こんなにも充実したメイン図書館の他にも、分室として市内に5か所設置されています。トーランス市の学力の高さは、このような環境も影響しているのでしょうか。



【市立図書館 一階ロビー受付カウンター】

人口40万の柏市に対し、15万人というトーランス市がこれ程までに立派な文化施設を持っていることに驚きました。日本では地域でのコミュニティーの希薄化がしばしば問題視されています。経済的側面が重視されがちな今日において、住民の精神的満足度を忘れてはならないと思いました。まちは人が作るもの。人々がここに住み続けたいという希望をもつためには、このような文化施設とその運営が重要な役割となるのだと思います。

昨年は45周年使節団として訪問し、トーランス市と日系移民の歴史をより深く学ばせていただきました。そして、今回は現在のトーランス市を文化施設という視点から見聞する機会を得て、意義深い体験をさせていただきました。柏生と共に過ごした18日間を快適にそして思い出深いものにしてくださった、ホストファミリーの皆様、TSCAの皆様にご心より感謝致します。そして、このような素晴らしい機会を与えてくださった柏市、KCC、支援してくださった皆様、本当にありがとうございました。